

事業所名: グループホーム 野の花

作成日: 平成 27 年 2 月 5 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。 | | | | | |
|--|------|---|--------------------------|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 次のステップに向けて取り組みたい内容 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 2 | 認知症サポーター養成の講師研修を職員が受講予定であり、地域の方向けの研修をホームないで開催できればと考えている。お茶会やフラワーアレンジメント等も企画し、子供達も含めて地域の方が集える機会を増やしていく予定である。 | 地域に貢献できるグループホームを目指す。 | 認知症の理解を深めてもらうためオレンジリング普及に取り組んでいく。地域の方々と協力し必要とされる企画を考え、回覧板等で発信していく。 | 24 ヶ月 |
| 2 | 4 | 家族には会議の目的を説明し、手書きの葉書を郵送している。敬老会の前に会議を行うなど、今後も家族に開催日程のアンケートを行うと共に議題等も検討し、参加しやすい会議にしていく予定である。 | 会議に地域の方々、沢山の家族に参加していただく。 | 参加しやすい日時をご家族に再度お尋ねし、議題も利用者様に関する内容に興味と意見を出していただける様、職員会議等で話し合い意見を求めていく。 | 24 ヶ月 |
| 3 | 28 | 要望の少ない方もおられる。今後もすべての方の生活の意向を把握し、職員間で共有して行きたいと考えている。野の花オリジナルの行事企画も行い、更なる楽しみを増やしていく予定である。 | 入居者、ひとり一人の生活に視点を合わせていく。 | 日々の関わりの中でその方の望む暮らしを少しずつでも把握していく。企画にできれば入居者様も参加してもらう。 | 24 ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |